

トピックス topics

第26号
H23.9

京 農 業 会 議

都 だ よ り



発行 京都府農業会議
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
Tel:075(441)3660

- 農業会議総会 特集号 —
- p 1 ◆ 第104回総会を開く
 - p 2 ◆ 新しい常任議員が決まる
 - p 3 ◆ 改選後の農業委員数は613人
 - p 4 ◆ 議員の異動、出版案内、スケジュールほか



左から草木会長、林副会長、但馬・宇野・牧監査委員

総会では、このほか、平成22年度の事業報告と決算の承認、平成23年度的一般会計補正予算の承認などが行われました。

会 長	草木 慶治 (京都府農業共済組合連合会会長)	再任
副 会 長	林 善嗣 (京田辺市農業委員会会長)	新任
副 会 長	中川 泰宏 〔京都府信用農業協同組合連合会 経営管理委員会会長〕	再任
監査委員	但馬 正一 (和束町農業委員会会長)	再任
監査委員	宇野 明忠 (京丹後市農業委員会会長)	新任
監査委員	牧 克昌 (京都府農業協同組合中央会専務理事)	新任

京都府農業会議は8月24日、太田京都府副知事、近藤府議会議長の出席を得て、京都市内のルビノ京都堀川で第104回総会を開催し、新しい役員（会長・副会長）および監査委員と常任議員を選出しました（役員Ⅱ左表、常任議員Ⅱ2頁を参照）。

第104回総会を開く

● ● ●
新しい役員・常任議員を選出

新しい土地利用の仕組みづくり

まさに、**正念場**

草木慶治会長の就任あいさつから



京都府農業会議の会長に再度、就任させていただくにあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

先般、発表された農林業センサスをみますと、京都府内の農業従事者は平均年齢が68歳と高く、また、販売農家数にあつては、前回から14%も減少するなど、高齢化の進行と同時に担い手の減少局面に入ったことがみとれます。府内には、約900haの荒廃農地の存在が確認されており、これの更なる拡大が心配される場所があります。

こうした状況の下、新しい土地利用の仕組みづくりと、担い手の確保・育成が同時一体的に急がれるところであり、土地と人を活動の軸とする私たち、農業委員会系統組織にとりましては、まさに、正念場となります。

このような大変な時期に、会長という重責を賜り、身の引き締まる思いであります。誠心誠意努力する所存でございますので、農業委員各位のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

新しい常任会議員が決まる

第104回総会は、農業委員統一選挙後に新しく構成された会議員によって開催され、21人の新しい常任会議員（任期3年）を互選しました。

1～6号会議員と常任会議員は以下のとおりです。

京都府農業会議の会議員と常任会議員

(平成23年 9月 1日現在)

選出母体		氏 名	常 任 会議員	選出母体		氏 名	常 任 会議員
1号	京 都 市	中村 安良	○	1号	綾 部 市	大島 幸雄 (再)	○
	向 日 市	中山 宇一 (新)	○		舞 鶴 市	石東 輝己 (再)	○
	長 岡 京 市	西川 博晴 (新)			福 知 山 市	大槻富司雄 (新)	○
	大 山 崎 町	小泉 博 (再)			宮 津 市	小嶋 保徳 (新)	
	宇 治 市	吉田 利一 (再)			与 謝 野 町	三田彌壽信	○
	城 陽 市	完岡 義清 (再)			伊 根 町	小原 澄晴 (新)	
	久 御 山 町	奥田 富和 (再)	○	京 丹 後 市	宇野 明忠	○	
	八 幡 市	岡本弥四郎 (再)		2号	農協中央会	牧 克昌 (新)	○
	京 田 辺 市	林 善嗣 (再)	○	3号	農業共済連	草木 慶治	○
	井 手 町	大西 猛		4号	信用農協連	中川 泰宏	○
	宇 治 田 原 町	大川 吉平 (新)		5号	土地改良連	藤原 秀夫	○
	木 津 川 市	辻 清康			農総協センター	小倉 訓 (新)	
	笠 置 町	石川 武美 (新)		森 林 組 合 連	青合 幹夫		
	和 束 町	但馬 正一 (再)	○	6号	学識経験者	細見 泰敏	○
精 華 町	尾崎 平宏 (再)		学識経験者		安原 牧男		
南 山 城 村	奥谷 善巳 (新)		学識経験者		奥田 光治	○	
亀 岡 市	田中 義雄 (新)	○	学識経験者		稲本 志良	○	
南 丹 市	野中一二三	○	学識経験者	河村 律子	○		
京 丹 波 町	白樫 貢	○					

注1：氏名欄…1号の(新)は第21回農業委員統一選挙後の新任会議員、(再)は再任会議員、無印は非改選を表す。

2～6号の(新)は今年6月以降に就任した新任会議員、無印はそれ以前からの継続会議員を表す。

注2：常任会議員欄…○は常任会議員

改選後の農業委員は613人

うち女性44名(7名増)、認定農業者99名に

第21回農業委員統一選挙により、19市町村で農業委員407名(選挙委員296名、選任委員111名)が選出されました。このうち女性委員は31名(改選で5名増)で、非改選委員会の13名とあわせると44名になりました。また、法認定農業者の委員は71名で、非改選委員会の28名とあわせ99名となりました。

改選委員会では、現在、優良農地の保全と多様な担い手の確保をリードする「動く農業委員会」をめざして、新任委員の研修や活動計画づくりがすすんでいます。

農業会議では、新任農業委員研修への支援や女性農業委員研修交流会(9/16)を実施しています。各農業委員会事務局の協力で、現在の京都府内の農業委員数を下表にとりまとめました。

第21回農業委員統一選挙後の農業委員数

〈改選委員会(19委員会)〉

平成23年9月1日現在

農業委員会名	選挙委員	小計	選任委員				農業委員数 合計	うち女性	うち認定
			議会推薦	農協推薦	共済推薦	改良区推薦			
向日市	11	5	4	1			16	2	0
長岡京市	15	7	4	1	1	1	22	2	0
大山崎町	6	2	1	1			8		0
宇治市	14	6	3	1	1	1	20	1	8
城陽市	16	7	4	1	1	1	23		0
久御山町	15	7	4	1	1	1	22	1	5
八幡市	19	7	4	1	1	1	26	1	6
京田辺市	20	7	4	1	1	1	27	3	2
宇治田原町	18	5	3	1	1		23		9
笠置町	8	2	0	1	1		10		0
和束町	9	6	4	1	1		15	2	2
精華町	16	7	4	1	1	1	23	2	3
南山城村	12	6	4	1	1		18	3	9
亀岡市	23	7	4	1	1	1	30	3	6
綾部市	16	6	3	1	1	1	22	3	2
舞鶴市	20	7	4	1	1	1	27	3	0
福知山市	30	8	4	2	1	1	38	2	7
宮津市	18	5	3	1	1		23	2	5
伊根町	10	4	2	1	1		14	1	7
計	296	111	63	20	17	11	407	31	71

〈非改選委員会(7委員会)〉

平成23年9月1日現在

農業委員会名	選挙委員	小計	選任委員				農業委員数 合計	うち女性	うち認定
			議会推薦	農協推薦	共済推薦	改良区推薦			
京都市	30	9	4	3	1	1	39	4	3
井手町	6	5	2	1	1	1	11		1
木津川市	20	7	4	1	1	1	27	2	3
南丹市	29	7	4	1	1	1	36	1	2
京丹波町	24	6	3	1	1	1	30	4	0
与謝野町	20	6	4	1	1		26		8
京丹後市	30	7	4	1	1	1	37	2	11
計	159	47	25	9	7	6	206	13	28

〈全委員会合計(26委員会)〉

計	455	158	88	29	24	17	613	44	99
---	-----	-----	----	----	----	----	-----	----	----

会議員の異動

〈1号会議員〉

退任 (いずれも7月19日)

〔向日市〕 山口 武

〔長岡京市〕 西小路重幸

〔宇治田原町〕 前田 憲一

〔笠置町〕 西村 重男

〔南山城村〕 北窪 敦美

〔亀岡市〕 中井 健雄

〔福知山市〕 菊田 哲夫

〔宮津市〕 森川耕一郎

〔伊根町〕 小向 昭雄

〈2号会議員〉

退任 十川 洋美 (7月13日)

〈1号常任会議員〉

退任 (いずれも7月19日)

〔乙訓〕 西小路重幸

〔宇治〕 完岡 義清

〔南丹〕 中井 健雄

〔中丹〕 菊田 哲夫

〔丹後〕 小向 昭雄

〈2号常任会議員〉

退任 十川 洋美 (7月13日)

退任される会議員の皆様には、長い間お世話になりました。

常任会議だより

農地法等諮問案件のほか、次の課題を協議しました。

第358回常任会議

平成24年度京都府農林施策への提案について (素案)

【農地法諮問案件の審議件数】(8月)

第4条 3件1、473㎡

第5条 8件4、969㎡

計 11件6、442㎡

【会議員現地調査2件】

9月20日 (京田辺市)、9月22日 (与謝野町)

会議研修会等の開催

第104回総会……………8月24日

農業委員会事務局長会議

・山城北ブロック……………8月31日

・南丹・中丹ブロック……………9月1日

きょうと女性農業委員の会臨時総会 ……9月16日

女性農業委員研修交流会……………9月16日

農業者年金対策会議

・山城ブロック……………9月21日

・南丹・中丹・丹後ブロック……………9月22日

出版案内

【農業会議の出版物】

『あぐりるねっさんず』

▼No.84 (2011年夏号)

おすすめ図書

農業委員のための研修テキスト

シリーズ1〜6



「コード22-43〜46 23-19〜20 全刊1,600円」

●農業委員の研修用にテーマごとにコンパクトにまとめられた使いやすいテキストです。

2011年 農業委員業務必携

「コード23-10 1,400円」

●農業委員の基本テキスト。農業委員会をめぐる情勢や農業委員会業務について解説した農業委員必読書です。



「コード23-17 800円」

●平成23年度版農家相談の手引

「コード23-18 800円」

改訂版 新・農地の法律早わかり

農地の法律・制度から農業経営の支援策まで、農家にかかわる幅広い諸制度を解説。

農家相談の手引

「コード23-10 1,400円」



「コード23-17 800円」

●平成23年度版農家相談の手引

農地の法律・制度から農業経営の支援策まで、農家にかかわる幅広い諸制度を解説。



「コード23-18 800円」

●農地の法律について図表を用いて、コンパクトにわかりやすく解説されています。

※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール(予定)

▼第359回常任会議 (9/28)

▼相続税・贈与税納税猶予制度に関する研修会 (9/29)

▼京都・乙訓ブロック農業者年金対策会議 (9/30)

▼綴喜地方農業委員会協議会新任農業委員研修 (9/30)

▼中日本ブロック農業委員会職員現地研究会 (10/17〜18)

▼第360回常任会議 (10/26)

▼農政活動経験交流会 (10/27)

▼農地基本台帳システム利活用研修会(中・上級編) (10/28)

▼第361回常任会議 (11/24)